

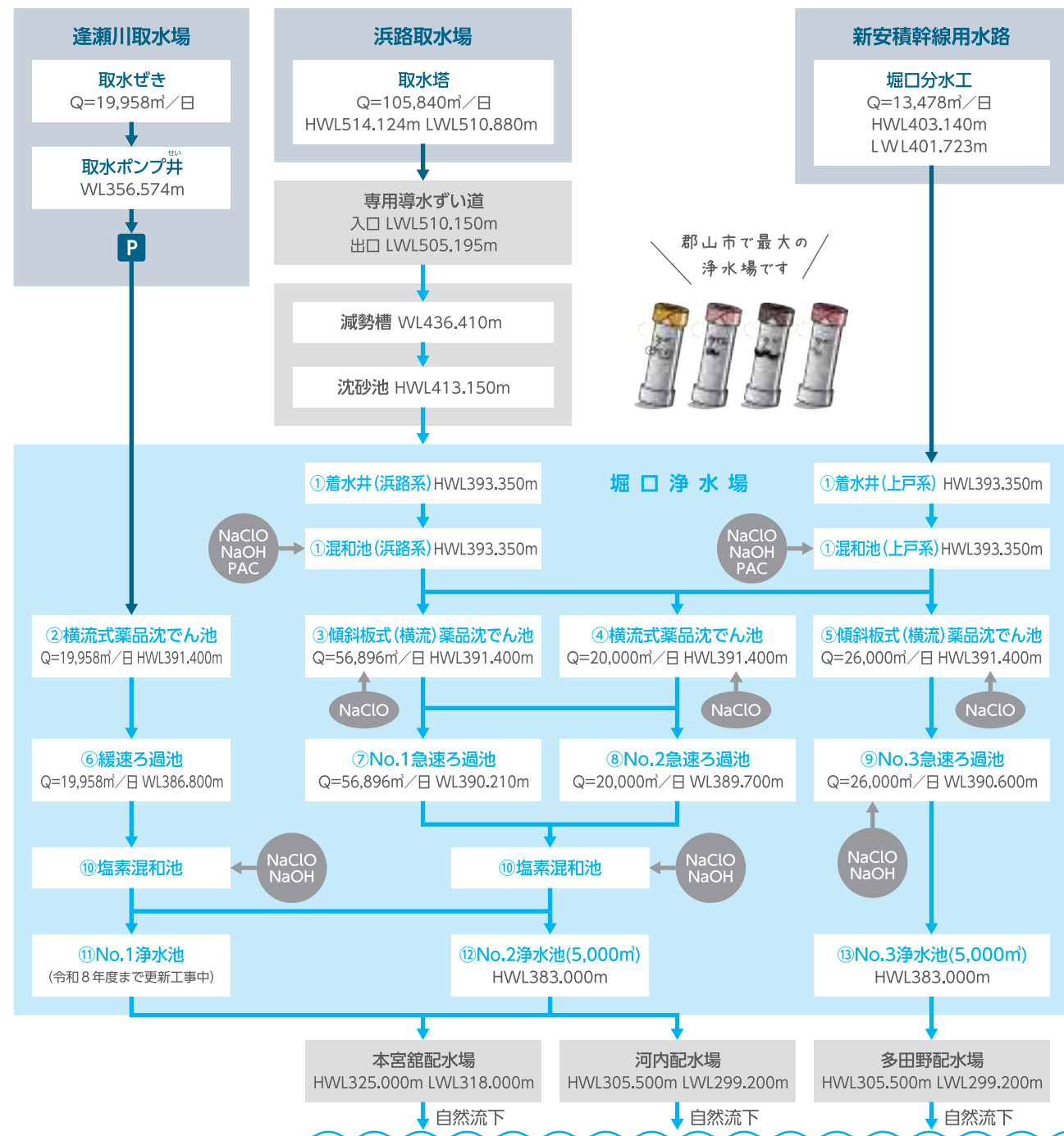
堀口浄水場

堀口浄水場は、1965（昭和40）年の1市5町7村の合併による新郡山市の誕生に伴う人口増加と給水区域の拡大に対応するため建設し、1971（昭和46）年に給水を開始しました。その後、増加し続ける水需要に対応するため、1979（昭和54）年には猪苗代湖から直接取水を開始しました。

また、2012（平成24）年度末には、老朽化した豊田浄水場を廃止して、その機能を統合するため、施設の拡張を図りました。

現在、施設能力122,000m³/日をもち、本市の基幹浄水場として全給水量の約8割を供給しています。

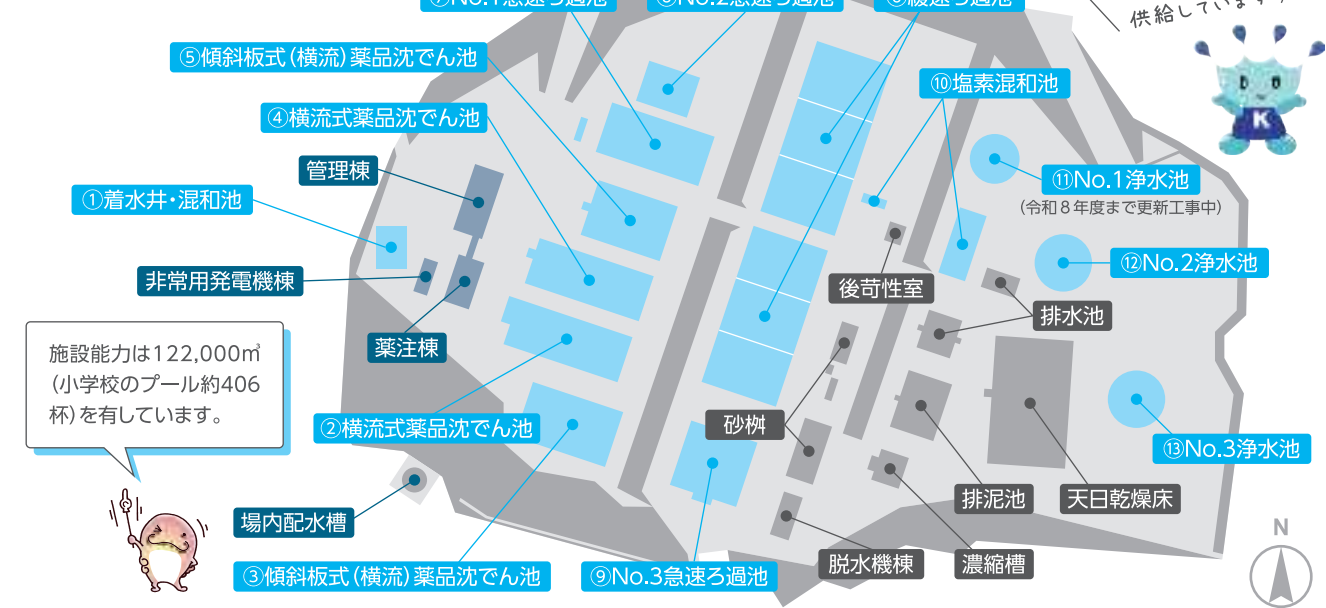
問 堀口浄水場 TEL 024-957-3002
浄水課 TEL 024-932-7646



施設概要

所在地	郡山市逢瀬町多田野字元寺1-1	1971（昭和46）年7月13日給水開始
施設能力	122,000m ³ /日	
取水施設	浜路（猪苗代湖）	取水塔 正方形断面全鋼製 5m×5m 高さ18.7m、導水管SPφ1,500mm 延長187m 取水量105,840m ³ /日
	堀口分水工（猪苗代湖）	取水口 幅1.86m×高さ0.91m 取水量 13,478m ³ /日
	逢瀬川	取水ぜき、取水ポンプ 6.95m ³ /分×44m×75kW×3台、取水量 19,958m ³ /日
導水施設	専用導水ずい道	2R=2m 延長5,304.6m
	導水管	〈浜路系〉 SPφ1,000mm～φ700mm 延長3,297.6m 〈上戸系〉 DIPφ800mm 延長244.7m 〈逢瀬川系〉 SPφ600mm 延長649.8m
	調圧水槽	内径5m×深18.6m
	減勢槽	4m×4m×深7.15m×2槽
浄水施設	沈砂池	4m×35.5m×深3.5m×3池
	着水井	〈浜路系〉 4m×5.4m×深4.5m×2系列 〈上戸系〉 2m×7m×深4.5m
	混和池	〈浜路系〉 4m×3.6m×深4.5m×2系列 〈上戸系〉 2m×2m×深4.5m
	薬品沈でん池	横流式薬品沈でん池 12m×46m×深3m×2池×2系列 傾斜板式（横流）薬品沈でん池 13.5m×24m×深3.8m×2池×1系列 8.8m×33.45m×深3.7m×2池×1系列
	ろ過池	緩速ろ過池 27.5m×40m×3池、31.2m×40m×3池（1池予備） （1,100m ³ ×3池+1,248m ³ ×2池）×3.5m/日≒20,000m ³ /日 急速ろ過池 4m×8m×16池（2池予備）、3.2m×6.4m×8池 （32m ³ ×14池×125m/日）+（20.48m ³ ×8池×122m/日）≒76,000m ³ /日 7.5m×3.75m×6池（1池予備） （28.1m ³ ×5池×185m/日）≒26,000m ³ /日
	薬注設備	PAC注入装置、NaOH注入装置、NaClO注入装置
	消毒設備	塩素混和池、NaClO注入装置
	浄水池	5,000m ³ ×2池 計10,000m ³
	排水処理設備	排水池 3池、排泥池 2池、濃縮槽 1槽、天日乾燥床 4床、加圧脱水機
	自家発電設備	6,600V、500kVA（400kW）
送水施設	送水管	SPφ600mm 8,724m、DIPφ1,000mm 1,627m、DIPφ800mm 2,531 m
	配水池	〈本宮館〉 8,800m ³ ×2池 〈河内〉 10,000m ³ ×3池 〈多田野〉 10,000m ³ ×1池（2槽式） 計57,600m ³

浄水場平面図



【用語説明】 WL:水位 HWL:最高水位 LWL:最低水位 GL:地上面 Q:流量 NaOH:液体苛性ソーダ NaClO:次亜塩素酸ナトリウム PAC:ポリ塩化アルミニウム P:ポンプ

【用語説明】 SP:鋼管 DIP:ダクタイル鋳鉄管